

いじめ根絶、解決策話し合う

「ダメ」の認識持とう

仲間づくり 子ども会議 小・中・高生19人が出席

【芦別】芦別市仲間

づくり「子ども会議」

が12日、市福祉センタ
ーで開かれた。市内の
小・中・高生19人が、いじめ根絶に
向けて話し合い、解決

市教委の福島修史教
育長は「いじめはその
人の人格を傷つけ、人
としての尊厳をないが
しろにします。それぞ

れ何ができるかを活発
に話しあって下さい」
とあいさつした。

新一郎校長が「具体的

にアイデアや意見を出
し合うのは重要なスキ
ルになる。お互いの意
見を尊重することは大
事なので、誰でも自由
に意見を出して認め合
うことが重要です。い
じめられる側の視点か
ら話し合ったのはとて
も良かった」と評価し
ていた。【船木宗司】

今回のテーマ「ネッ
トによるいじめを防ぐ
ためには」と題し、高
校生が進行役となり3
グループに分かれて協
議した。

最後に各グループの
中学生が発表。「相手
の立場になって考える
ことは重要」「悪口を
見つけたら、先生に伝
え共通の認識を持つこ
とが大事」「周りの人
と分かり合うことが必
要」「ちょっとしたこ
とで相手を傷つけてし
まうので、いじめはダ
メだと認識するように
する」など活発が意見
が出された。



最後に芦別小の三浦